

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Vol.11
May 2016



川口市『たたら祭り』(写真提供：たたら祭り実行委員会)



国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116

エイペックスタワー東館1階

TEL: 048-827-0022 FAX: 048-827-0011

E-mail: ri2770@ri2770.com URL: <http://www.ri2770.com/>



4月14日と16日に熊本県でマグニチュード6.5(暫定値)と7.3を記録する大地震が発生し大きな被害を受け、大分県でも地震が発生しています。被災された方々へお悔やみを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。2770地区では4月15日にお見舞金を集めることを決め、各クラブにお願いしています。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

4月に入り、当地区の各クラブの周年事業に参加する事が多くなりました。当該クラブにおかれましては、節目の年をお祝いするとともに、新たな活動の起点にさせていただくことを願っております。

4月は青少年奉仕月間です。当地区においては、青少年奉仕部門を中心に、クラブの協力を得て、インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換など沢山のプログラムが活発に展開されています。4月2日～4日には、富士山の朝霧高原のYMCAにて本研修を行いました。担当委員会から報告があると思います。

本号では、先月に紹介しきれなかった国際奉仕部門委員会の活動をご紹介します。

地区の国際奉仕部門が企画したフィリピンの国際奉仕事業の検証ツアーが、2/21-24に実施されました。私はIMなどの事情で23日に帰国しました。

国際奉仕部門では、フィリピン3800地区と国際奉仕事業の発掘ツアー(例年9月に実施)と、検証ツアー(例年、翌年の2月に実施)を実施しています。ツアーには地区内の国際奉仕に興味のあるクラブ、フィリピンで国際奉仕を実施するクラブが参加しています。発掘ツアーでは、国際奉仕をしたいクラブ(日本側)が事業を実施するクラブ(フィリピン側)と直接会って、質疑応答をし、事業資金の提供を決めます。これで事業の実施がクラブ間で成立します。その後、6ヶ月後にフィリピンを再訪問して、相手クラブの事業の実施状況を視察します(検証ツアー)。水道の浄化装置が動いていたり、トイレが完成したりしていま

青少年奉仕月間に因んで

2015 - 2016 年度国際ロータリー
第2770地区ガバナー
井原 實(さいたま新都心 RC)



す。事業資金を提供したクラブは、建設中の写真や、事業に掛った費用の明細などの報告を聞き、書類を受け取ります。資金提供クラブは帰国後クラブ内部で視察内容を報告します。地区補助金を使用した場合にはロータリー財団に報告をして、国際奉仕事業が完結します。資金提供側のクラブと事業を実施する側のクラブが、数年間、色々な事業を経験すると、協力関係が生まれ、友好クラブや姉妹クラブの関係に発展する可能性も秘めています。

ここまで読んでこられた方は、どうして、2770地区と3800地区はこのような国際奉仕事業の関係が構築出来たのかと思うのではないのでしょうか。両地区の関係は、岩槻東RCがフィリピンの3800地区にあるマラボンRCと1985年9月14日(31年前)に姉妹クラブを締結したことに始まりました。岩槻東RCは81年からマラボンRCと非公式に接触をしていました。始めは両クラブ間で国際奉仕事業を実施していました。マラボンRCはエディ・チュア(Eduardo "Edi" Chua、1990-91年度)ガバナーを輩出し、岩槻東RCは田中徹夫ガバナー(2000-01年度)を輩出しました。以後、エディPDGと田中PDGの友情で地区レベルでの奉仕事業が始まりました。当初はお二人で訪問スケジュールを決めて、5～6名単位でWCS(世界社会奉仕、World Community Service)基金の利用範囲内で支援金の授与と視察と検証をしていたようです。現地に行かないと訪問先のクラブがわからない事もあったようです。朝の7時にホテルを出発して視察検証を行いクラブの例会に出席し、検証後に支援金を渡して懇親会をして夜中の0時くらいにホテルに戻る3泊4日のツアーだったと伺っています。お二人のガバナー経験者が両地区の国際奉仕事業を継続的にサポートして下さったおかげで、2013-14年度(伊藤公仁部門委員長:戸田西RC)から今日の形式の関係が成立しました。この間には幾つか失敗した事業もあったことと思います。改めて両ガバナー、そして両地区の歴代国際奉仕部門の委員の方々に感謝申し上げます。

フィリピン検証ツアー 「国際奉仕事業で儲けてみませんか？」

国際奉仕部門委員長 阿部 朋博

1919年6月1日にアジアでは初めてのロータリー・クラブ「マニラロータリー・クラブ」が設立されました。フィリピン籍2名、中国籍1名、米国籍35名会員数38名、公用語は英語でのクラブでした。

天皇皇后両陛下が2016年1月26日から5日間、国交正常化60周年となるフィリピンを訪問されました。陛下は「太平洋戦争の激戦地でもあったフィリピン国内で大勢の人々が命を失い、傷ついたことを、私たち日本人は決して忘れてはならない」と述べられました。

1979年、フィリピンのザビノ・サントスパストガバナー(1970ー71年度)が、国際ロータリーにポリオ免疫接種事業を行ってくれるように、という手紙を出したそうです。ポリオ予防ワクチンの必要性、国内外の諸機関の協力、ロータリアンおよびロータリー・クラブの協力などが考慮された結果、フィリピンは3-Hプログラムによる、最初の大規模免疫接種活動をするのに適切であると認められました。結果、1979年9月から、生後3か月から36か月の子ども約600万人に対して、5年計画のポリオ免疫接種活動が始まりました。この活動が、国際ロータリーが取り組んだ最初のポリオ撲滅活動の原点になったと言われています。

アジア内国際ロータリーの歴史においても約100年、ポリオの歴史においても約40年、このように国交正常化後、親日派が多いフィリピン3800地区と2770地区のお付き合いは30年の歴史がございます。ロータリー活動、奉仕事業を知る事にも、アジアを知る事においても、切っても切れない国フィリピンである事

を念頭にご紹介させていただきます。

さて、フィリピンにおける奉仕プロジェクトの現状を検証するために訪比しました。



国際奉仕委員会でお勧めしてまいりました「フィリピン 3800 地区との共同支援事業」検証に 2 月 21 日～24 日の 3 泊 4 日で行ってまいりました。日程の前後したクラブや参加者もいらっしゃいましたが、その方達を合わせると総勢 45 名での検証旅行参加となりました。

初日は第 3800 地区主催のウエルカムディナーに出席。2770 地区、3800 地区の共同支援クラブ同士が同じ円卓について食事をしながら様々な意見交換、交流をいたしました。また、両地区ガバナーが直接意見交換できたことも有意義だったのではないかと思います。

二日目は、各支援先に検証に向かいました。個別の検証結果については後日各クラブから資料を提出いただきますので、改めてご報告させていただきたいと思いますが、支援事業がきちんと行われていた事は間違いありません。また、いくつかのグループでは、次年度以降に支援を仰ぎたい案件を案内されました。私の視察したサンマテオ RC では「太陽光パネルと車のバッテリーを使用して、電気のない集落に電気のある生活を届けよう」という事業を希望しておりました。

今年度の検証を済ませ、電気のない集落に向かいました。途中で橋のない川（幅 10 m、水深 50 cm 位でしょうか）を 4WD の車で渡り、車 1 台やっと通れる土の道を進んで行くと集落がでてきました。飲めない井戸水にランプ生活。学校へは、通学途中の川にかかる幅 50cm ほどの粗末な橋のようなものを渡って行くのだそうです。25 万円ほどで 50 世帯の集落に文明の明かりを灯す事ができるのだそうです。まだまだ、支援を必要としている人がいることを実感しました。

三日目は、孤児院視察を行いました。90 人ほどの子供たちの暮らす施設では、親がいない、または育児放棄された等、行き場のない子供達が生活しております。草加松原 RC から文房具を、八潮みらい RC の伊藤さんは知人から大量のお菓子を預かって用意してくださいました。地区からはタオル、歯ブラシ、歯磨き粉と運営支援金 100,000 円をご用意しました。有意義な視察になりましたが、この財団の支援者の日本人女性からお聞きした、こうした施設の問題点の話が一番心に残りました。文字数に制限がなければこの話こそ是非記載したいのですが残念です……是非卓話に呼んでください。

三日目の夜は、2770 地区の皆で居酒屋に繰り出し「さよならパーティー」を行いました。検証に廻ったグループ毎に検証の結果を発表してもらうのが恒例となっています。この発表で情報交換することが次の支援に役立っているように思います。3800 地区からのレポートもいくつか見ましたが、詳細なものが多かったので安心しました。

今年も「驚き」「感動」「出会い」のある、楽しく意義深い支援事業になりました。今年度も協

力いただいた皆様に感謝！次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

※残念ながら字数制限もあり、お伝えしたい事の 10 分の 1 もお伝えできません。国際奉仕委員会を卓話に呼んでください。お待ちしております。報告文責：国際奉仕委員長 小山寿行

今回、フィリピン側のクラブとインタビューもできましたので一問一答の形で紹介させていただきます。創立されて未だ 2 年未満の RI.D3800 のクラブが、「RI.D2770 との共同プロジェクトを行って」と題してインタビューを試みました。クラブ名は伏せさせていただきます。

1. 現在の会員数は何名ですか 男性会員数？ 女性会員数？

⇒男性会員 8 名 女性会員 20 名 合計 28 名です。

2. 貴クラブの会費は？日本の場合半期（7 月～12 月）（1 月～6 月）で分けて会費納入を行いますが貴クラブの場合の会費納入はどのような形でしょうか？また差支えなければ会費は幾らでしょうか？

⇒年会費は 6000 ペソ（US \$135）です。

納入方法は毎月 500 ペソ支払い半期 3000 ペソ支払いのいずれかです。

3. どのような紹介で貴クラブに入会されたのですか？

⇒新しいメンバーの募集は、クラブの会員増強委員会によって選択されています。

会員増強委員会のインタビューがあり、入会前に他 3 クラブの例会に出席する事が条件となります。その後、新しいメンバーとして登録されています。

4. 会長の選出方法はどのようにされるのですか？

⇒会長の選出は 5 月に行われ、3 年先までの会長を選びます。

5. 今回のような ELEMENTARY SCHOOL 支援のプロジェクトの情報は誰が探されたのですか？今回の学校はロータリアンの知り合いですか？

ロータリアンの親戚の子供、またはロータリアンの子供が通われていますか？

⇒今回の行ったプロジェクトは、当クラブのメンバーが情報をキャッチし、クラブで討議し決定しました。プロジェクト先にはロータリアン関係者は従事及び就学していません。

6. RI.D2770 と共同プロジェクト提案は RI.D3800 からいつごろ皆様のクラブに提案がありましたか？

⇒RI.D3800 の 6 つの重点分野「水と衛生」のイベントを行った時に、RI.D3800 プロジェクト委員会から RI.D2770 との共同プロジェクトの方法がある事を知りました。

正式な共同プロジェクト詳細は、RI.D3800 プロジェクト委員会を通して RI.D2770 に提出されます。

7. 何故 RI.D2770 と共同でプロジェクトをやろうと考えましたか？

⇒ RI.D2770 と RI.D3800 が長年のパートナーであったので、我々は安心と信頼できると判断しプロジェクトを行うことを決定いたしました。

そして、我々は皆様の支援が非常に魅力的ですし、心より感謝しております。

8. 今回 ELEMENTARY SCHOOL 水道浄水器設置のプロジェクトを行い評価は如何だったですか？

⇒水と公衆衛生プロジェクトの評価は、モニタリングを通して行われます。

我々は、1～2ヶ月の割合で上手く作動しているか点検を行います。

9. クラブ内会員の今回のプロジェクトに対する評価は如何だったですか？

⇒現状は良好です、プロジェクト担当者と会長がプロジェクト先とモニタリングの結果報告を当該年度末に再度報告し評価を得ます。

10. 機会があればまた、RI.D2770 の地区内クラブと共同でプロジェクトを行いたいのですか？

⇒そういう機会に恵まれれば、何も考えることなく即答で YES と答えます。

願わくば、姉妹クラブを結び毎年共同でプロジェクトが出来ることを願っています。

11. 今後、RI.D2770 のクラブとどのような形で付き合っていきたいのですか？

⇒常に共同で奉仕プロジェクトが出来ることを願っています。

我々はいつでもウエルカムで同じ目標に向かって進みたいです。

12. お答え可能ならご解答ください。

2015 年 9 月プロジェクト視察と 2016 年 2 月プロジェクト検証の 2 回、パンパシフィックホテル内「チャイナパレス」レストランでウエルカムディナーが開催され、RI.D2770 側は夕食をご馳走になっているのですが、食事代及び飲料はガバナーが全て負担されているのでしょうか？それとも、ガバナーとフィリピン側のクラブで負担されているのでしょうか？負担されているとしたら幾らクラブで負担されているのですか？

⇒9 月のウエルカムディナーに関しては全てガバナーが負担しています。

2 月のウエルカムディナーに関しては全てプロジェクトホストクラブが負担しています。これは RI.D2770 の皆様がフィリピンに支援していただける感謝の心です。金額に関してはご想像のとおりです。

RI.D2770 支援クラブも視察時と検証時 2 回貴クラブのご負担で昼食をご馳走になりましたが、会長がご負担されているのでしょうか？それともクラブ参加者

の皆様でシェアされているのですか？それともクラブ負担でしょうか？

⇒昼食に参加したクラブメンバーでシェアしています。

我々フィリピン人が考える「幸せになれる最良の方法」は、どのような会合やパーティーやプロジェクトでも参加していただく皆様が外国の方であれ、フィリピンの方であれ「ありがとう」と言っただけのことが「幸せになれる最良の方法」と信じており、日々精進し今後も邁進してまいります。フィリピン RI.D3800 を選んでいただき感謝すると共に RI.D2770 のクラブの皆様と知り合いになれたことに感謝申し上げ、さらなる親善と信頼が深まりますことを祈っております。素晴らしい国 JAPAN 素晴らしい桜の季節に マブハイ？

奉仕事業を行うにあたり、原点の考えとして、この事業で誰が一番の受益者になるだろうか？受益者が地域の人々？もしくは地域社会？この考えが「社会奉仕・国際奉仕」の基本となるのではないのでしょうか？では受益者がロータリー・クラブ或いは自分自身の場合はどういう場合でしょうか？受益者の地域の人々、地域社会が抱く感情ではないかと思ひます。行った奉仕事業により「信頼、信用」が生まれロータリー・クラブに自分自身に得られるのではないのでしょうか？イコール「職業奉仕」でしょうか？「社会・国際・職業奉仕」は一對だと思ひます。「最も多く奉仕する者、最も多く報われる」と言う言葉通りの実体験が日本国内はもちろんの事、奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善平和を推進することが出来る国際奉仕事業です。

フィリピンへの支援もさることながら、地区内の皆様が諸外国の皆様と「志」と「誇り」を共有され「信じる者」になってみませんか？「信」のニンベン「人」と言う意味です。「信＋者＝儲」もうけるとは、人を信じることでないのでしょうか？国際奉仕事業を通じて大きく儲けてみませんか？



失業女性に対して自立の為の職業訓練検証と 3800 地区との友好関係深化

第 2770 地区ガバナー
井原 實（さいたま新都心 R C）

私は所属しているさいたま新都心 RC がサン・ファン・セントラル RC（以後 SJC-RC と略記）と実施した「失業女性に対して自立の為の職業訓練（バック作成）」（総額 2,000 ドルの事業）の検証とガバナーとして 3800 地区との友好関係を深めることを目的に、検証ツアーに参加しました。

当該事業は、2015 年 9 月に実施した国際奉仕部門の事業発掘ツアーにクラブの関係者が参加して見つけたものです。私は、2 月 21 日の D.3800 と D.2770 の歓迎パーティで SJC-RC のフランチェスカ・プリナス会長、ロザリオ・ビレイザー奉仕委員長に初めてお会いしました。翌 22 日に実施した事業の見学と、メトロマニラ地区で進行中の大規模な総合身障者サポート施設（ステッピング・ストーン）を視察することになりました。

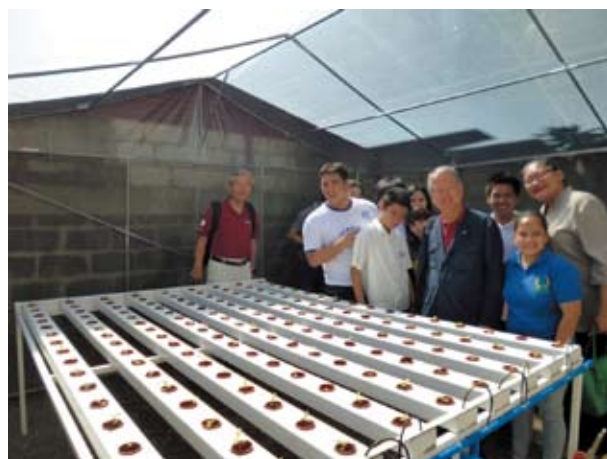
歓迎パーティでは、D.3800 の同期のガバナーであるアルフレッド・ジュン・アベラー（マリキナ・イースト RC）と話しましたが、翌週に開催される地区大会へ招待するとか、G 補助金の事業を直ぐにもやりたいとか、現実味の少ない話が多くなってしまいました。事前準備の必要性を痛感しました。マリキナ・イースト RC と事業を数度実施している幸手 RC との姉妹提携の話をジュンガバナーが出されましたが、実現性があると感じました。共同で奉仕事業を数回重ねている内に自然な形で姉妹提携が出来ると、以後の関係も良好に進むように思います。

SJC-RC は会員の殆どが女性、男性はオブザーバーとして数名いる程度で、創立 3 年目の若いクラブでした。初代会長はフランチェスカ会長の母親で、彼女は東南アジアで初の女性ガバナーを輩出したサンタ・ギーナ RC の出身だそうです。SJC-RC は創立以来、G 補助金の使用も含む、幾つもの奉仕事業を実施しているので、その秘密を聞いたところ、身障者福祉、水と衛生などテーマ別に専任を設けて活動しているとの話でした。メトロマニラ地区の各クラブで奉仕事業の情報の共有も進んでいるようです。

SJC-RC とさいたま新都心 RC が進めた、失業女性の自立訓練は、失業女性に新聞紙などの紙を使ってバックを作ることからでした。サンファン市のメイブンガ・バランカイ（バランガイはフィリピンの最小行政単位）の行政庁舎の屋上を借りてバッグを作っていました。見学した時には、D.3800 地区大会で参加者へ配布する資料を入れるバッグを作っていました。参加者全員にバックを支給するそうです。紙バッグの作り方を教える技術を持っている人が、そのアイデアを SJC-RC へ持ち込み、それを SJC-RC が失業女性の就労訓練とい

う社会奉仕事業に結び付けて推進する計画を立案し、資金をさいたま新都心 RC が提供（含む地区補助金）した事業でした。

ステッピング・ストーン（以後 SS と略記）は進行中の総合身障者サポート施設の名称で有り、同時に進行中のプロジェクトを指している場合もあります。メトロマニラ地区の大規模事業オーナーの多くが会員になっているマカティ RC が 5 年前にカソリックスクールを買い取り、身障者向けの学校運営を始めたことに起因します。運営を始める



と資金が掛り過ぎることが解り、SS という学校法人を作り、クラブ会員のダヤル・ナンドワニ氏がクラブを退会して、SS 法人の専務として直接運営に当る方式に切り替えました。ロータリークラブが、ロータリアンが運営する企業を支援すると利益相反になるので、これを避けたものです。

ダヤル氏は、身障者の子供（教育）から大人（職業スキル訓練）までを一貫してサポートする構想でSS プロジェクトを立案しました。子供には教育する教室、大人には職業スキルとして、野菜の栽培、ランドリー（洗濯）技術、飲料水製造、バリスタ（コーヒーサービス）、ベーカリー（パンの製造販売）、ホテルの部屋の清掃などの技術を教え訓練する施設、更にセラピーとして、音楽、絵画、ダンス、演劇などの施設の建築、将来的には、水泳プール、成人のアパートの建築までを視野にいて土地を購入しています。これらの施設の一つ一つを、G 補助金も含む色々な寄付金で建設する構想です。飛び石を置くように施設とソフトウェアを構築して行くので、プロジェクトの名称をステップング・ストーンとしたそうです。

SFC-RC はカナダの RC と G 補助金（House Keeping Lively Food Training for Persons with Disability）で、ホテルの部屋の模擬環境を作り、清掃訓練をする訓練コースを開発しました。彼らは3月28日に TESDA（Technical Education Skills Development Authority：技能開発の技術教育機関）の認証を取得しました（SFC-RC の HP 参照）。これにより、SS でホテルの部屋の清掃訓練を受けた生徒は、実際のホテルの就職面接で必要な教育訓練を終了した TESDA の証明書を提示できるようになります。彼らは、この教育コースを4月から開講する構想でしたので、間に合ったことになります。ダヤル氏との会話を通じて、その情熱と構想に圧倒されるとともに、わずか創立3年のクラブが多くの方の奉仕事業に取り組んでいる姿を目の当たりにして、深く感銘を受けました。2泊3日で3日目には朝4時にホテルをチェックアウトするような駆け足視察でしたが、マニラで大変充実した時間を過ごす事が出来ました。



国際ロータリー第2770地区 第3グループ インターシティミーティング

第3グループガバナー補佐
井上 久雄(さいたま樺RC)

2016年2月23日、大宮清水園於いて、井原ガバナーを始め多くのご来賓のご臨席のもと、さいたま樺RCをホストクラブとして、2015-16年度国際ロータリー第2770地区第3グループインターシティミーティングを開催しました。

第3グループ内の大宮RC・大宮南RC・大宮中央RC・大宮シティRC・さいたま樺RC・さいたま大空RCの6クラブが集い、クラブの枠を越えて、会員相互の親睦と知識を広め、会員に各クラブの情報を伝えることを目的に、第一部は講演会として、ベストセラー「バカの壁」の著者、養老孟司先生に“希望は「壁」の先にある”～養老流 人生を楽しむ極意～と題してお話をいただきました。

なお、この講演会は、ロータリーの認知度が少しでも向上するように願って一般公開とし、また広く一般に講演会を周知させるため、埼玉新聞社、テレビ埼玉、FM NACK5の地元メディア3社の後援をいただき、より広く地域社会への浸透を図った結果、50数名の一般方々の来場をいただきました。ご来場いただきました皆様に感謝と御礼を申し上げます。

若干風邪気味という養老先生でしたが、大変お元気で「人間というものは、結局自分の脳に入ることしか理解できない」と、78歳になられた今でも、「バカの壁」は思考停止を招くとして、率先して活躍されている養老孟司先生に見習うことが多く、また、埼玉県民が医学への貢献をしていたとの話に、若い医師であった頃の養老先生のご苦勞を知りました。

第二部合同懇親会には、ご来賓として清水勇人さいたま市長も駆け付けていただき、IMに花を添えていただきました。クラブ活動紹介では、6クラブの活動を映像で紹介。それぞれのクラブの活動を知る良い機会でありました。新会員の紹介、次年度ガバナー補佐、グループ幹事、次年度会長幹事の紹介のあと、アトラクションとしてラクーンよしもと劇場の「天津」&「えんにち」が出演。2組の漫才で大いに笑い、最後に「手に手つないで」を参加者全員で歌いIMはお開きとなりました。

結びに、IM開催にあたりご尽力いただきました6クラブの会長・幹事の皆様、IM実行委員会の皆様に感謝と御礼を申し上げ、報告とさせていただきます。



国際ロータリー第 2770 地区 第 4 グループ インターシティミーティング

第 4 グループガバナー補佐
遊馬 久治 (大宮北東 RC)

2 月 16 日 (火)、第 4 グループのインターシティミーティングが大宮清水園にて開催されました。ご多忙の中を、さいたま市長 清水勇人様、(公社) 埼玉中央青年会議所理事長 吉田浩士様、専務理事 丸山正様、そして、国際ロータリー第 2770 地区ガバナー 井原實様をはじめとする多くのロータリアンの皆様にご臨席を賜り盛大に開催することができました。

今年度の I M はテーマを「未来につなげよう ロータリーの思いやり」とし、人対人、そして、ロータリーの奉仕についても一番欠かせないものである「思いやり」について考え、それを未来につなげていく重要性を改めて見直してみました。

記念講演では境野勝悟先生をお招きし「日本のこころ」についてご講演をしていただき、日本人のこころ、日本人としての誇りをご享受いただきました。

日頃、何気なく使っている言葉の中にもそれぞれ由来があり、その言葉を理解し、これからの社会生活で重要視される「思いやり」についても学ぶことができましたようです。I M 終了間際には『君が代』についての由来、意味を話していただき、この歌になじみ深いロータリアンにとって興味深いところでした。

懇親会ではクラブという枠を越え、それぞれロータリアン同志が語り合い、友情を深めあっていただけたようです。アトラクションでは、フルートの石井陽子さんとピアノの小島知恵さんによる素晴らしい演奏を聞かせていただきました。

鈴木隆直前ガバナー補佐へ感謝と敬意をこめて花束を贈呈させていただいた後、各クラブの会長、幹事、グループ内地区役員、学生の皆さん、そして清水次年度ガバナー補佐から次年度会長、幹事の皆様をご紹介いただき、会場内は更に盛り上がったところです。今回の I M 開催に際して尽力していただきました各クラブ選出の実行委員の皆様のご紹介の後、4 月 22 日開催の第 3 グループとの合同のポリオ撲滅チャリティゴルフの案内をさせていただきます閉会となりました。

今年度の I M が皆様のご協力により有意義な価値ある充実した会合であったと自負させていただきます。



全日本プロレス株式会社様より寄付金の贈呈

地域社会奉仕委員長 丹井 亮一 (桶川 RC)

平成 28 年 3 月 26 日、全日本プロレス株式会社 (代表取締役社長秋山潤氏) より当委員会宛に地域社会発展にと寄付金を寄贈いただきました。全日本プロレス「2016 ドリームパワーシリーズ」川口 SKIP シティ大会、試合開始前のセレモニーの席上、地域社会奉仕委員会宛てに、同社取締役大森隆男氏より拝受いたしました。当委員会では貴重な浄財として地域社会発展或いは東北復興支援のために有効活用させていただきたく拝受させていただきました。

セレモニー終了後は、プロレス観戦で楽しい一時を過ごさせていただきましたこと、感謝申し上げます。(参加者 4 名)



国際ロータリー第 2770 地区 第 9 グループ インターシティミーティング

第 9 グループガバナー補佐
百瀬 皓 (草加中央 RC)

第 9 グループ、インターシティミーティング (I M) は、3 月 20 日 (日) 草加市文化会館にて開催されました。国際ロータリー第 2770 地区ガバナー 井原實様、草加市長 田中和明様、八潮市長 大山忍様に出席を賜り、また草加八潮の小中学校の先生並びに生徒さんと第 9 グループ会員の皆さんのご協力をいただき、当日を迎えられたことに感謝を申し上げます。

今回の I M は第 1 部が「ポリオ撲滅草加八潮ミュージックフェスタ」、第 2 部式典、第 3 部懇親会という 3 部構成とさせていただきました。

今年度、国際ロータリーの K . R . ラビンドラン R I 会長は「世界へのプレゼントになろう」と提唱されました。また、井原實ガバナーは「ロータリーは奉仕を通じて、人づくり、自分作り」地区運営方針は「ロータリーを学ぼう、そして楽しもう」であり、私は今回の I M のテーマを井原實ガバナーのテーマと同じ「ロータリーは奉仕を通じて、人づくり、自分作り」とさせていただきました。

3 つの提言を聞いたときに私が最もこの 3 つの言葉に応えられるのは「ポリオ撲滅草加八潮ミュージックフェスタ」であると確信し、地域未来の青少年に大きな希望と成長をもたらすことができることとして、企画、実行をさせていただきました。

この企画は初めての試みとなる草加市、八潮市の小中学校の金管バンド、中学校の吹奏楽部、草加ジュニアオーケストラの弦楽器、管楽器の皆さんが一同に介して楽しめる音楽企画とさせていただきました。この企画は多くの方々に検討、検証していただき、次に繋がる形が作れば、この企画が成功であったと確信するところであります。その結果、観衆延べ 1200 名を集め、ポリオ撲滅に関心をいただくと共にこの事業の継続により、青少年の健全育成や文化向上による社会環境の発展に寄与できる企画として継続を望む声が多くあり、反響の大きさを示しています。

第 2 部式典では参加各校に支援金を贈呈し、参加校の指導する先生方より感想をいただいたところ、生徒がポリオ撲滅の大切が理解できた、ロータリーの奉仕活動の素晴らしさが理解できた、ロータリークラブとはどのようなものかの一端を知ることができたという感想もいただき、I M 本来の目的が達成できたと理解し、第 9 グループ会員各位の協力があればこそと感謝するところであります。



RYLA 研修セミナー 報告

RYLA 担当委員長
宮田 一雄（庄和RC）

4月2日（土）8時40分、富士山朝霧高原で開催されるRYLA研修セミナー参加者全員が大宮駅東口に集合した。あいにくの曇り空ではあるが何とか雨が降らないでくれればよいのだが…。

本年度、我が地区のRYLA研修セミナーは『日本の酪農の現状を学ぶことを通じて、リーダーシップを養う』のテーマのもと、2回の事前研修と、2泊3日の本研修を開催させていただきました。

第1回事前研修は、昨年12月5日（土）春日部市商工振興センターに於いて開催しました。午前10時、井原ガバナーよりご挨拶をいただき、岩渕均・青少年奉仕部門担当諮問による、ロータリーに関する知識についてご講演をいただいた。

午後からは、酪農とちぎ農業協同組合の水井様、臼井様より「日本の酪農と牛乳の現状」について、搾乳して製品になり、消費者に届くまでを、画像を交えて講義をいただいた。

第2回事前研修は、2月27日（土）同じく春日部市商工振興センターに於いて開催しました。今回は、マインドマップを使い、夢探検マップづくりで、自分の夢・な

りたい自分探しを行った。なかなか自分を見つめる時間を作ることの出来ない研修生にとって、有意義な時間だったようだ。



さて、第3回目の本研修は、朝霧高原「富士山Y M C A」に於いて開催した。大宮を出発した大型バスは川越ICから入り中央高速道・河口湖ICで降り、山梨名物の「ほうとう」の昼食をとる。大鍋を囲んで皆満足そうに食べていた。昼食後バスを1時間ほど走らせ、世界遺産構成遺産の「白糸の滝」を見学し、富士山Y M C A施設に入所した。

開校式を行った後、B B Qを囲んでの懇親会である。大自然の中でいただくB B Qは格別であり研修生同士、研修生とロータリアン共々和やかに親睦がはかれた。

本研修2日目は牧場体験である、Y M C Aからバスを15分ほど走らせ松下牧場に到着、あいにくの小雨ではあるが屋根があるのでさほど影響はないようだ。体験内容は、搾乳、ブラシ掛け、餌やり、牛舎の掃除等である。この体験を通じて、命の大切さ、食物の大切さを学びましたとの感想が聞かれた。なお、松下牧場は120頭の牛を親子4人で運営する。ロボットが牛の世話をする近代牛舎である。Y M C Aに戻り5グループに班別し、1時間30分のグループ討議を行い本日のプログラム終了である。

3日目最終日は終了式を行う、昨日のグループ討議内容の代表者による発表、修了証書の授与、参加者全員のスピーチで終了した。3日間あいにくの天候で富士山の麓に居ながら、富士山が見えなかったのは残念であったが、昼食をとっていると雲が流れて富士山が見えてきた、帰り際には全員で富士山をバックに記念撮影。帰り道に、世界遺産構成資産「富士山本宮浅間大社」を参拝、国指定特別天然記念物「湧玉池」見学し帰路につく。

最後に、当地区内の22クラブよりご推薦とスポンサーをいただきまして、研修生34名とロータリアン22名のご参加をいただきました。ご推薦並びにスポンサーをしていただきました各クラブ、そして深いご理解を賜りました地区内全てのロータリークラブに対し厚くお礼を申し上げ、報告とさせていただきます。有難うございました。





ROTARY INTERNATIONAL
District 2550
Ashikaga East Rotary Club

地区ガバナー 各様

平成28年4月9日



2016-16年度
RYLA地区ガバナー
中 田 誠 一

拝啓 桜の花の頃、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年9月に発生いたしました、「平成24年9月関東・東北豪雨」の大水害に際しましては、心なから義援金を振り誠にありがとうございました。

9月9日から降り続いた記録的な大雨は、栃木県内各地に被害をもたらし、特に日光市、小山町、栃木市、鹿沼市で大規模な浸水被害が起きました。

このような中で、たくさんの方のロータリアンの皆様よりから貴会が義援金を寄せられました。皆さまのご志は何よりも心強く励みされるものであります。

この義援金は、被害に遭われた皆様へお慰めの金として、地区内各クラブへそれぞれ181万円ずつお届します。

また、2550地区内のロータリアン3月号に「平成24年9月義援金贈呈」の表を添えてお送りいたします。

本表より義援金をお寄せいただき、お礼の状をお送りいたします。

心から感謝申し上げます。

2550地区の中谷ガバナーから、義援金のお礼と使途のご報告がありました。

2016-16年度
RYLA地区ガバナー
中 田 誠 一

2550地区の義援金贈呈の表

地区名	義援金額
日光市	1,810,000円
小山町	1,810,000円
栃木市	1,810,000円
鹿沼市	1,810,000円
合計	7,240,000円

杉戸 RC 創立 45 周年記念例会 関口博正 PG 超我の奉仕受賞

会長 渋谷 忠明
幹事 折原 正昭

平成 28 年 3 月 31 日（木）、杉戸町の和泉屋に於いて「杉戸 RC 創立 45 周年記念例会」および「関口博正 PG 超我の奉仕授賞式」が行われました。杉戸 RC は昨年度、20 周年を迎えた杉戸中央 RC と合併し新しいスタートを切ったばかりですが、杉戸 RC の歴史を引き継ぎ、今年 45 周年を迎えることになりました。年齢層を補うように合併した両クラブは、地区の活動、青少年交換、米山世話クラブ、チャリティゴルフ、地域社会の活動も今まで以上に充実しております。

創立 45 周年記念事業としましては、財団・米山に寄付、杉戸町全小中学校に計 300 万円の図書
の寄贈を致しました。杉戸 RC では、創立 40 周年の式典が、東日本大震災で中止となりましたので、図書の寄贈はその分も含まれています。

そしてこの度、当クラブの関口博正 PG が「R I 超我の奉仕賞」を受賞されました。この賞は、R I の目標の推進に対し際立った努力をした人を表彰するものであり、ロータリアンの最高の榮譽であります。この受賞のために北 清治元 R I 理事にもご臨席いただきました。45 周年という節目に、このような受賞式をすることができ、当クラブと



しても大変喜ばしく思っております。そして、ご臨席賜りました来賓の皆様、近隣クラブの会長幹事様、当クラブの活動を支えて下さいました会員とご家族の皆様にご心より感謝申し上げます。

国際ロータリーからの表彰

関口 博正パストガバナーに
超我の奉仕賞



R I の目標の推進に際立った努力をした人を表彰。ロータリーの与える最高の榮譽。

森田 武司パストガバナーに
ロータリー財団特別功労賞



功労表彰受賞後丸 4 年以上経過して受賞資格を得る。R 財団から授与される最高の賞。

田中 徳兵衛パストガバナーに
ロータリー財団功労賞



財団への優れた業績に対して各地区から年度内に最大で 1 名、1 度限り贈呈される。





大口寄付 16,026 \$

岡村 藤美
(浦和東)

平成 28 年 3 月 30 日

大口寄付 10,100

平田 繁
(大宮)

平成 28 年 3 月 30 日

M・P・H・F (6)

佐藤 正行
(浦和東)

平成 28 年 3 月 30 日

M・P・H・F (4)

金澤 利幸
(久喜菖蒲)

平成 28 年 3 月 24 日

M・P・H・F (4)

松崎 宏
(久喜菖蒲)

平成 28 年 3 月 24 日

M・P・H・F (4)

平井 文人
(浦和東)

平成 28 年 3 月 30 日

M・P・H・F (2)

武藤 茂
(浦和東)

平成 28 年 3 月 30 日

P・H・F

佐野 敏樹
(浦和東)

平成 28 年 3 月 30 日

P・H・F

石坂 健一
(浦和東)

平成 28 年 3 月 30 日

ベネファクター (2)

大沢 昌太郎
(越谷東)

平成 28 年 4 月 5 日



メジャードナー (39)

森田 武司
(大宮北東)

平成 28 年 3 月 31 日

メジャードナー (24)

大塚 信郎
(上尾)

平成 28 年 3 月 17 日

メジャードナー (11)

田中 徹夫
(岩槻東)

平成 28 年 3 月 30 日

米山功労者マルチプル (9)

金澤 利幸
(久喜菖蒲)

平成 28 年 3 月 24 日

米山功労者マルチプル (7)

松崎 宏
(久喜菖蒲)

平成 28 年 3 月 24 日

米山功労者マルチプル (7)

大貫 等
(上尾西)

平成 28 年 3 月 31 日

米山功労者マルチプル (5)

小林 忠司
(鴻巣水曜)

平成 28 年 3 月 17 日

米山功労者マルチプル (5)

明石 寿也
(戸田西)

平成 28 年 3 月 31 日

米山功労者マルチプル (5)

西袋 政己
(戸田西)

平成 28 年 3 月 31 日

米山功労者マルチプル (4)

田中 武
(八潮)

平成 28 年 3 月 31 日

米山功労者マルチプル (3)

山口 光男
(鴻巣水曜)

平成 28 年 3 月 17 日

米山功労者マルチプル (3)

大澤 二三夫
(鴻巣水曜)

平成 28 年 3 月 17 日

米山功労者マルチプル (3)

進藤 和夫
(久喜菖蒲)

平成 28 年 3 月 24 日

米山功労者マルチプル (2)

井上 脩士
(鴻巣水曜)

平成 28 年 3 月 17 日

米山功労者マルチプル (2)

無量小路 俊宏
(幸手中央)

平成 28 年 3 月 30 日

米山功労者マルチプル (2)

鈴木 茂伸
(戸田西)

平成 28 年 3 月 31 日

米山功労者マルチプル (1)

小林 玲子
(鴻巣水曜)

平成 28 年 3 月 17 日

米山功労者マルチプル (1)

落合 政之
(幸手中央)

平成 28 年 3 月 30 日

米山功労者マルチプル (1)

大内 浩
(戸田西)

平成 28 年 3 月 31 日

米山功労者マルチプル (1)

本多 信太郎
(川口モーニング)

平成 28 年 3 月 31 日

日本語版 フェイスブック開設

国際ロータリーの日本語フェイスブックページが開設されました(アドレス: www.facebook.com/rotaryjapan)。

今すぐ「いいね!」をクリックし、ポスティングをシェアして、ロータリーの情報発信にご協力ください。

先月掲載のアドレスに間違いがありましたので、再掲いたします。

国際ロータリー世界本部
グローバルコミュニケーションズ
アジア地域担当チーム

新会員

平成 27 年 10 月 7 日入会

森島 秀之
(浦和北)
東洋建設(株)
建設業

平成 28 年 1 月 7 日入会

村松 宏呂子
(大宮西)
プリンセスリフォーム
リフォーム工事業

平成 28 年 3 月 1 日入会

徐 哲欣
(さいたま大空)
ウエルシア薬局(株)
サービス

平成 28 年 3 月 2 日入会

白岩 智
(浦和北)
関東食糧(株)
食材卸売業

平成 28 年 3 月 2 日入会

齋藤 文男
(浦和北)
イツワークス(株)
不動産販売業

平成 28 年 3 月 18 日入会

田中 洋
(浦和)
埼玉りそな銀行 浦和中央支店
都市銀行

平成 28 年 3 月 24 日入会

福村 典子
(さいたま中央)
スタジオ TEN
料理教室

平成 28 年 3 月 29 日入会

太田 亘
(川口東)
(有)ワタル塗装工業
塗装業

平成 28 年 4 月 1 日入会

幸田 淳志
(桶川イブニング)
レストランバー ランプ
飲食業

平成 28 年 4 月 1 日入会

岡野 千枝子
(桶川イブニング)
岡野
不動産管理

平成 28 年 4 月 4 日入会

内山 直樹
(大宮西)
(株)みずほ銀行 大宮支店
銀行業

平成 28 年 4 月 4 日入会

川井 理砂子
(大宮西)
はるか法律事務所
弁護士業

平成 28 年 4 月 7 日入会

宮下 智義
(春日部西)
(有)サンライズ
運送業

平成 28 年 4 月 11 日入会

山本 貴之
(大宮西)
(株)栄進住宅
不動産業

平成 28 年 4 月 11 日入会

石丸 主憲
(大宮西)
司法書士法人すくろ・いしまる事務所
司法書士業

平成 28 年 4 月 11 日入会

永井 博
(大宮西)
プレデンシャル生命保険(株)
生命保険業

平成 28 年 4 月 11 日入会

田所 龍雄
(大宮西)
(株)アゲオ
コンクリート製品製造業

平成 28 年 4 月 11 日入会

重松 高浩
(大宮西)
総合警備保障(株) 埼玉中央支社
警備業

平成 28 年 4 月 11 日入会

遠山 諭
(大宮西)
(株)三菱東京 UFJ 銀行 大宮支店
銀行業

謹んでお悔やみ申し上げます。

訃報

桑折 吉家 様
(大宮)
平成 27 年 12 月 1 日
享年 87 歳山田 恵一 様
(上尾西)
平成 28 年 3 月 13 日
享年 77 歳堀切 良一 様
(三郷)
平成 28 年 3 月 14 日
享年 73 歳

文庫通信 (343 号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 4 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。以下資料のご紹介を致します。

「ロータリアンの矜持」

◎「ロータリアンの矜持」 藤川享胤 2015 1p (D.2800 月信)

◎「ロータリーの親睦」 松田泰長 2016 1p (D.2790 月信)

◎「親睦の真意は」 櫻木英一郎 2016 1p (D.2790 月信)

◎「“そよ風に 稲田のかおり 山深し” (ロータリーに輝きを)」 久野薫 2015 1p (D.2680 月信)

◎「ロータリーのバッジはいいバッジである」 塚原房樹

2015 1p (D.2510 月信)

◎「いま求められる寛容の精神“Toleration”」 塚原房樹 2016 2p (D.2510 月信)

◎「続・国際ロータリーの変質」 新藤信之 2015 20p

◎「『クラブ戦略委員会に関するアンケート』回答要約」 村橋義晃 2016 2p (D.2660 月信)

◎「ロータリー創立記念日に纏わる遊び種」 神崎正陳 2010 9p

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫 〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前 10 時~午後 5 時 休館=土・日・祝祭日

2015-2016 年度 3 月 会員数及び出席率報告

クラブ名	7月1日 現在 会員数		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会	当 月		通算 出席率 順位
	内 女性		内 女性					出席率	順位	
浦和	117	2	121	2	4	10	4	76.23	57	44
浦和東	85	7	89	7	4	3	4	92.41	6	4
浦和南	27	1	26	1	-1	4	0	88.46	20	6
浦和中	37	2	42	2	5	5	5	81.83	41	9
浦和ダイヤモンド	25	8	21	5	-4	5	0	88.93	16	23
第1グループ計	291	20	299	17	8	27	13	85.57		
浦和北	74	8	83	9	9	5	10	82.15	37	17
さいたま中央	44	2	44	4	0	3	3	94.54	3	26
浦和西	20	3	19	3	-1	3	0	73.37	62	35
浦和北東	48	5	45	5	-3	4	0	72.56	65	63
さいたま新都心	38	0	38	0	0	7	1	88.88	18	15
第2グループ計	224	18	229	20	5	22	14	82.30		
大宮	63	0	64	0	1	3	6	79.58	47	41
大宮南	39	7	38	8	-1	5	3	81.58	42	38
大宮中央	43	1	48	2	5	2	5	84.80	28	52
大宮シティ	77	4	74	4	-3	4	4	77.07	53	58
さいたま櫨	22	2	24	2	2	8	2	83.25	31	58
さいたま大空	17	7	16	6	-1	3	0	55.00	73	73
第3グループ計	261	21	264	22	3	25	20	81.26		
大宮西	89	4	101	6	12	10	21	82.35	35	56
岩槻	22	3	23	3	1	5	1	65.22	71	72
大宮北	22	1	21	1	-1	3	0	76.47	56	34
大宮東	43	0	47	0	4	3	4	78.87	50	57
岩槻東	30	3	31	4	1	3	1	90.57	12	11
大宮北東	16	2	17	2	1	5	1	67.74	69	68
第4グループ計	222	13	240	16	18	29	28	76.87		
上尾	37	1	37	1	0	3	1	90.81	11	2
鴻巣	23	2	22	2	-1	3	1	86.36	25	7
桶川	18	0	20	0	2	3	3	94.51	4	47
上尾西	45	0	44	0	-1	5	1	92.10	9	5
北本	8	0	9	0	1	3	1	85.71	27	21
上尾北	26	0	27	0	1	3	1	89.42	15	10
鴻巣水曜	32	4	31	3	-1	3	1	83.87	30	33
桶川イブニング	16	1	14	0	-2	2	0	84.31	29	60
第5グループ計	205	8	204	6	-1	25	9	88.39		
春日部	36	0	36	1	0	5	2	90.40	13	36
杉戸	38	1	41	1	3	4	3	81.94	39	53
春日部西	30	1	30	1	0	5	0	87.84	23	29
庄和	22	1	22	1	0	3	1	89.75	14	20
春日部南	29	3	28	3	-1	1	1	75.00	60	40
春日部イブニング	25	1	23	1	-2	3	0	75.06	59	71
第6グループ計	180	7	180	8	0	21	7	83.33		

クラブ名	7月1日 現在 会員数		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会	当 月		通算 出席率 順位
	内 女性		内 女性					出席率	順位	
幸手	41	1	46	1	5	3	5	72.82	64	12
蓮田	52	2	54	2	2	5	2	76.84	54	55
久喜菖蒲	49	4	50	4	1	5	3	81.55	43	27
栗橋	9	0	9	0	0	2	1	81.92	40	46
幸手中央	27	0	29	1	2	3	3	81.04	44	61
第7グループ計	178	7	188	8	10	18	14	78.83		
越谷	89	6	91	5	3	6	6	78.53	51	31
越谷南	55	5	54	6	-1	6	1	88.36	21	32
越谷北	57	3	56	3	-1	6	2	82.78	33	49
越谷東	48	4	47	4	-1	6	2	82.69	34	45
越谷中	20	1	18	1	-2	6	3	79.20	48	13
第8グループ計	269	19	267	19	-2	30	14	82.31		
八潮	39	3	35	3	-4	5	1	95.34	2	3
八潮イブニング	25	0	26	0	1	3	1	80.80	46	28
草加中央	23	1	23	1	0	3	0	91.30	10	16
八潮みらい	23	0	26	0	3	7	3	92.24	8	8
草加松原	33	2	34	2	1	8	1	71.17	67	66
第9グループ計	143	6	144	6	1	26	6	86.17		
吉川	33	2	33	2	0	3	0	87.49	24	37
三郷	37	3	37	3	0	5	2	77.12	52	42
三郷中央	20	1	19	1	-1	5	0	82.17	36	50
三郷ウェンズデー	26	4	25	4	-1	3	0	75.00	60	67
松伏	14	3	15	3	1	3	1	96.67	1	1
第10グループ計	130	13	129	13	-1	19	3	83.69		
川口	79	12	80	11	1	5	3	76.81	55	59
鳩ヶ谷	22	1	22	1	0	3	1	88.07	22	14
川口東	21	0	24	0	3	3	4	86.09	26	24
川口・鳩ヶ谷武南	25	2	28	2	3	3	3	73.20	63	43
川口モーニング	27	2	26	2	-1	7	2	92.31	7	25
川口南	31	5	36	5	5	3	5	68.28	68	70
川口シティ鳩ヶ谷	17	1	16	1	-1	3	0	92.98	5	19
埼玉ゆず	12	12	12	12	0	2	1	66.66	70	39
第11グループ計	234	35	244	34	10	29	19	80.55		
戸田	52	5	54	5	2	3	2	82.06	38	51
蕨	20	1	23	2	3	3	3	80.86	45	22
川口西	28	4	27	4	-1	3	0	79.17	49	62
戸田西	25	1	23	2	-2	3	1	88.75	19	65
川口北	21	0	21	0	0	2	1	71.30	66	64
川口北東	19	2	18	2	-1	2	0	62.89	72	69
川口中央	13	3	13	3	0	5	0	88.89	17	18
川口むさし野	16	3	15	2	-1	5	0	75.98	58	54
戸田イブニング	19	0	20	0	1	2	2	82.85	32	30
第12グループ計	213	19	214	20	1	28	9	79.19		

	現在 会員数	内 女性	当月末 会員数	内 女性	目標 増減 純増	通算 入会	出席率
地区合計	2550	186	2602	190	52	299	81.93